

令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	商業	科目	簿記	学年	第3学年	類型	I型選択
単位数	2単位	教科書	新簿記（実教出版）				
補助教材							

学習目標	企業における取引の記録・計算・整理に関する知識と技術を習得し、簿記の基本的なしくみについて理解するとともに、ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を身に付けることを目標とする。
------	---

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	第5編 取引の記帳 (その2)	特殊な売買取引の記帳を学習し、様々な販売形式の仕訳を理解する。	中間考査
	5月		特殊な手形取引の記帳を学習し、様々な種類の手形の仕訳を理解する。	
	6月	第6編 決算 (その2)	費用・収益の繰り延べと見越しについての記帳方法を理解する。 減価償却の定率法の記帳方法について理解する。	期末考査
	7月			
2 学期	8月	発展編 株式会社の記帳	損益計算書の作成方法を理解する。 貸借対照表の作成方法を理解する。	中間考査
	9月			
	10月			
	11月		株式会社の設立と開業および株式の発行に関する処理を理解する。 剰余金の処分方法について、正しい仕訳の方法を理解する。	期末考査
	12月			
3 学期	1月		株式会社の税金の処理について学習し、適切な仕訳の方法を理解する。	学年末考査
	2月			
	3月			

学習の方法	学習プリント等で繰り返し練習することが大切です。ノート等も普段から提出文書を作成するつもりで丁寧に記入していくことを心掛けましょう。
-------	--

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	個人企業における簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得しているか評価します。	様々な記帳方法について、知識と技術を最大限活用して適切に判断する能力を身に付けているか評価します。	簿記の特徴的なしくみについて、理解しようと意欲的に取り組んでいるか評価します。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、提出物や授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。		